

本部名：三松中学校区地域学校協働本部

連絡先：小林市教育委員会社会教育課
TEL：0984-22-7912
FAX：0984-23-9700

1 活動の概要

対象学校名	小林市立三松中学校、三松小学校
活動分野	学習支援活動、学校行事、登下校の安全指導、環境整備、伝統芸能継承
【主な取組】登下校安全指導（通年）、読み聞かせ（通年）、部活動指導（通年）、小林市の史跡（5月）、ほたる学習（6月）、ものづくり体験（7月）、米作り（6～11月）、岩戸神楽（10月）、花壇植栽（11月）、面接指導（1月） など	
【連携・協働している機関】小林市手話サークル、社会教育課、岩戸神楽保存会、宮崎県職業能力開発協会、KSSVC事務局、小林市キャリア教育支援センター など	
○地域学校協働活動推進員 3人（地域住民）○ボランティア登録者数 2人	

2 特色ある取組の紹介

① 「ものづくり体験学習」・・・小学生



《ここがイチオシ！本部自慢！》地域と学校が一体となって児童を育てる！

○ 活動内容

- ・県職業能力開発協会のご協力をいただいて、国家資格をもつ板金、造園、染色補正の各技能士の皆様から物作りを学ぶ体験学習を実施した。



【板金製作の様子】

○ 事業を実施して（参加者の声等）

- ・どのグループも大変熱心に取り組み、大満足の物作り体験学習だった。キャリア教育の一環として、子供達の職業観を広げる機会となり、本当に有り難かった。（教職員）

② 「魅力ある学校づくり」（ダイバーシティ教育）・・・中学1年



《ここがイチオシ！本部自慢！》

ダイバーシティ教育で、お互いのつながりを深める！

○ 活動内容

- ・「集団指導（お互いのつながりを深める集団づくり）」の具体的な手立てとして「ダイバーシティ教育」を宮崎大学と連携して第1学年を中心に4回の授業（社会科・学級活動・こすもす科にて）を行った。宮崎大学の戸ヶ崎泰子教授によるPPR（仲間に対するポジティブな報告を増やすアプローチ）授業を実施した。



【授業の様子】

○ 事業を実施して（参加者の声等）

- ・やさしい提案や話し方のポイントは、しっかり覚えておきたいです。気持ちのてんびんやものさしを考えながら、人と話したり提案したりすることが大切だと思いました。（生徒）